児童発達支援センターバンビ　支援プログラム

事業所基礎情報

① 事業所名：児童発達支援センターバンビ
② 2026年4月1日　更新
③ 理念：子どもたちが、人との関わりの中で自分らしさを見つけ、生活していくために必要な力を習得するための総合的な支援を行います
④ 支援方針(目的)
1．私たちは、子どもたちの発達がどの段階にあるか見極め、遊びを提供し、やってみたいという気持ちを引き出しながら、できたことを共に喜び合う支援を行います
2．子どもたちが将来、家族以外の人たちの中でも、互いに助けたり、助けられたりしながら、自分の楽しみを見つけて生活できるように支援を行います
3．保護者に子どもの変化や発達の見通しを伝え、前向きに子育てができるよう支援を行います
⑤ 営業時間：8:00～17:00（月～土）
ただし、国民の祝日、8月14日から8月16日まで、及び12月29日から1月5日までを除く
⑥ 送迎実施：送迎あり(児童発達支援)

児童発達支援センターバンビでは、次の3つの支援を行います。
発達支援・家族支援・地域支援
1.発達支援
発達支援とは、障害児が日常生活や社会生活に必要な能力を身に付けるための支援です。
発達支援には、本人支援と移行支援があります。
（1）本人支援
子どもの能力向上を目指す支援で、グループで行う集団方式と、マンツーマンの個別方式とがあります。
「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域に対する支援が行われます。

児童発達支援センターバンビでは、児童発達支援・放課後等デイサービスで発達支援5領域を取り入れたプログラムを作成しています。

発達支援5領域
①健康・生活…健康状態の維持・改善、生活のリズムや生活習慣の形成、基本的生活スキルの獲得
②運動・感覚…姿勢と運動・動作の向上、姿勢と運動・動作の補助的手段の活用、保有する感覚の総合的な活用
③認知・行動…認知の発達と行動の習得、空間・時間、数等の概念形成の習得、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
④言語・コミュニケーション…言語の形成と活用、言語の受容及び表出、コミュニケーションの基礎的能力の向上、コミュニケーション手段の選択と活用
⑤人間関係・社会性…他者との関わり（人間関係）の形成、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加

①健康・生活

健康な生活を送ることを目標とした取り組みを行います。本人が習得すること

・健康管理の仕方

・規則正しい生活リズム

・上手な食事の仕方

・生活スキル（清潔保持、衣類着脱など）

②運動・感覚

運動と感覚を向上させることを目標とした取り組みを行います。

・姿勢保持や身体の動かし方

・姿勢保持や身体を動かすための補助具の使い方

・移動能力の向上

・五感の活用

・五感補助具の活用（メガネ、補聴器、イヤーマフなど）

③認知・行動

認知したものを行動につなげるための取り組みを行います。

・五感で情報を認知する

・認知した情報を行動につなげる

・認知や行動の手掛かりとなる周囲の状況をつかむ

・数量・大小・重さ・色などを理解する

・認知した情報を適切に処理する

④言語・コミュニケーション

言語とコミュニケーションを円滑にするための取り組みを行います。

・言葉を覚えて、声に出す

・相手の言葉を理解し、自分の考えを伝える

・指さし・身振り・サインなどが使えるようになる

・文字の読み書き

・コミュニケーション手段を使えるようになる（文字・記号・絵カード・機器・手話・点字など）

⑤人間関係・社会性

人間関係を通して社会性を育むことを目標とした取り組みを行います。

・周囲との安定した関係作り

・相手の行動をマネすることによる関係作り（模倣行動）

・「ごっこ遊び」などを通じて社会意識を育む

・皆で協力し合う「共同遊び」などを通じて他者との関係作りを培う（団子づくり、ままごとなど）

・自分の行動の特徴を知って、気持ちをコントロールする

・集団参加の手順やルールを理解する

支援内容

療育(あそび)の中には 5 領域にある内容複数が含まれていますが、表にある遊びの中で主な領域で示しています。

①健康・生活　②運動・感覚　③認知・行動　④言語・コミュニケーション　⑤人間関係・社会性

活動プログラム　例　(活動内容の一部を紹介しています)

⑦　本人支援の内容と 5 領域関連性

よつばグループ　9 :00～15:00

	あそび・生活場面	ねらい	内容	発達支援 5 領域
よつばグループ（児童発達支援）	・荷物整理 ・給食　おやつ ・午睡 ・排泄 ・着脱	持ち物意識をつける。 生活の流れを知り、見通しを持って過ごす。 生活動作を身につける	荷物を出す場所を視覚的に示す。 個々に合わせた食事を提供する。 24 時間の睡眠リズムを把握し、安定したリズムを整える。 個々に合わせた排泄リズムを把握する。 生活動作を身につける。	①健康・生活 ③認知・行動
	運動遊び ・マットよじのぼり ・平均台 ・トンネル ・外遊び ・散歩 ・水遊び ・ふれあい遊び	身体の使い方を知る。 可動域を拡げる。 ボディイメージをつける。 体力をつける。 受け入れられる感覚の幅を拡げる。	手で体重を支える。手で引き寄せる。よじ登る。足で支える。バランスを取る。くぐる。隙間を通り抜ける。持って進む。運ぶ。複数の遊びを組み合わせ、同時に処理しながら動作を行う。 周りを見ながら歩く事や、交通ルールを知る。	②運動・感覚 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
	制作 ・ハサミ ・糊 ・絵の具 ・描画 ・折紙	手先の巧緻性を高める。 目的を持って作る 出来上がりを喜ぶ 見せたい気持ちを育む。	季節に合わせた制作を行う。 見本を見て同じように作ろうとする。 自分なりに表現する事を促す。 手に絵の具や糊が付くなど、感覚の苦手さに配慮しながら、取り組める方法を一緒に考える。	②運動・感覚 ③認知・行動
	感触遊び ・小麦粘土 ・スライム ・氷遊び	触った感覚を楽しむ。 硬さや温度などを手で感じ取る。	触った時の違いに気づく。手に付く感覚を楽しむ。 感じた事を共有する。 手で確かめる。	②運動・感覚 ③認知・行動
	言葉あそび(絵本あそび) ・ペープサート ・ごっこあそび ・かるた	絵本の言葉と生活の言葉を繋げる。 つもりをひろげる。 共通のイメージをつくる	絵本に出てくるキャラクターやグッツを、イメージしたものを用意し、絵本遊びとして取り入れる。 生活や遊びの中に絵本のイメージを入れ、1 年間通して取り組む。	④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
	音楽遊び・音楽療法 リズム体操	音の変化に気づく。 曲の始まりと終わりがわかる。 音楽に合わせて行動する。(動く・止まる・跳ねる	季節の歌や行事の歌を知らせる。 行動に効果音をつけて、動きと音の関連性に気付けるようにする。 音楽に合わせることで、周りの友だちと合わせる事に繋がり、一体感を感じられるよ	②運動・感覚 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性

よつばグループ（児童発達支援）		等) 楽器操作・強弱	うにする。 楽器の自己選択・演奏方法を知る。	
	ままごと遊び	分類わけ。 模倣・共有・やり取りを楽しむ。	お皿と食べ物の使い分け、道具の使い方を知る。 つもりになって遊ぶことや、言葉でのやり取りを行う。 友だちとの関わりにつなげる。	③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
	クッキング 行事食 ランチプレート・バイキング等	食に興味を持つ。 包む・剥く・入れるなどの操作性を高める。	おにぎり・ホットケーキなど自分で盛り付けて食べる。匂いや見た目を楽しむ。 自分で選んで取る。食べられる量を考える。デコレーションした食事を楽しみながら食べる	①健康・生活 ②運動・感覚
	行事 地域療育 ・保育所交流 ・地域交流	季節の行事を知る いつもと違う雰囲気に気づく。 地域の人や施設を知る。	入園式・卒園式に全保護者参加で行う。参観日を定期的に行い、保護者の繋がりの機会や学びの機会を持つ。 いろいろな児童や地域の人との交流機会を提供する	④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
	ふりかえり ・写真をみる ・制作物をみる	写真を見て、自分・人・物が分かる。 自分がやった活動を思い出す。	印象に残りやすい場面を撮影し、プリントアウトしたものを見て、場面と言葉を繋げ、振り返る。人・物の名前を繰り返し見るきっかけを作る。	③認知・行動 ④言語・コミュニケーション

⑧家族支援(児童発達支援：よつばグループ)

家庭訪問：５月　懇談：４月・９月・10 月

親子遠足：６月

保護者参観(参加)日：年４回程度　運動会の取り組み参加：２回～６回　入園式・卒園式・修了式：保護者も全員参加

参観等で療育のねらいや生活についての勉強会をおこなうことや、グループ懇談を行うことがあります。

運動会の取り組み参観のほかに、園庭清掃作業や運動会で使用するグッズ制作の時間があります。

年度末に保護者がアルバムを制作する時間を設けています。

子育て学習交流会：毎月第４火曜日 13:30～14:30

学習会の内容例(生活・遊び・福祉サービス・就学・思春期対応・きょうだいの関わり・ライフステージ・学習　等)

⑨移行支援(児童発達支援：よつばグループ)

移行に向けての意向調査・情報提供及び情報収集促し

保育所・小学校の見学・教育相談・サポートファイル及びサポートブックの作成支援

就学児教育支援委員会(就学指導委員会)への現況調査提出及び出席説明

⑩地域支援・地域連携の内容(児童発達支援：よつばグループ)

地域療育：近隣の郵便局の利用・鵜飼育施設見学・近隣の保育所や幼稚園訪問・市内の図書館利用

※通所用の園バスにて訪問する場合と、徒歩にて訪問する場合があります。

事業所以外の場所で過ごす中で、施設を利用する時のマナーやお店の人に対する接し方等を伝えています。

保育所や幼稚園への訪問時に、他の園の子どもたちや職員の方との関わりが持てるようにしています。

民生委員連携：地区の民生児童委員の方に夏祭り等の行事へ参加いただくなどし、関わる機会を設けています。

警察署連携：地区の駐在所の方と市の警察署の方と合同で避難訓練を実施しています。

不審者対応訓練で、不審者役をお願いするなどして、連携を行っています。
交通安全教室や安全な送迎ができるように、指導をお願いしています。

たんぽぽグループは 2 時間の療育教室　　午前教室　9:30～11:30　午後教室 13:30～15:30

	あそび	ねらい	内容	発達支援 5 領域
たんぽぽグループ（児童発達支援）	・荷物整理 ・排泄 ・更衣	持ち物意識をつける。 教室の流れを知り、見通しを持って過ごす。	荷物を出す場所を視覚的に示す。 個々に合わせた排泄トレーニングをする。 着脱の目的を意識できるようにする。着替える場所を知らせ、人前の更衣は恥ずかしいなどを知らせる。	①健康・生活 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
	運動遊び (運動サーキット) ・マットよじのぼり ・平均台 ・トンネル ・外遊び ・散歩 ・水遊び ・ふれあい遊び	身体の使い方を知る。 可動域を拡げる。 ボディイメージをつける。 体力をつける。 受け入れられる感覚の幅を拡げる。	手で体重を支える。手で引き寄せる。よじ登る。足で支える。バランスを取る。くぐる。隙間を通り抜ける。持って進む。運ぶ。複数の遊びを組み合わせ、同時に処理しながら動作を行う。 周りを見ながら歩く事や、交通ルールを知る。	②運動・感覚 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
	制作 ・ハサミ ・糊 ・絵の具 ・描画	手先の巧緻性を高める。 目的を持って作る 出来上がりを喜ぶ 見せたい気持ちを育む。 工程順序を知り行動する。	活動の絵本に合わせた制作を行う。 見本を見て同じように作ろうとする。 自分なりに表現する事を促す。 手に絵の具や糊が付くなど、感覚の苦手さに配慮しながら、取り組める方法を一緒に考える。	②運動・感覚 ③認知・行動
	感触遊び ・小麦粘土 ・スライム ・氷遊び	触った感覚を楽しむ。 硬さや温度などを手で感じ取る。	触った時の違いに気づく。手に付く感覚を楽しむ。 感じた事を共有する。 手で確かめる。	②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
	音楽遊び リズム体操	音の変化に気づく。 曲の始まりと終わりがわかる。 音楽に合わせて行動する。(動く・止まる・跳ねる等) 楽器操作・強弱	季節の歌や行事の歌を知らせる。 行動に効果音をつけて、動きと音の関連性に気付けるようにする。 音楽に合わせることで、周りの友だちと合わせる事に繋がり、一体感を感じられるようにする。 楽器の自己選択・演奏方法を知る。	②運動・感覚 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性

たんぽぽグループ（児童発達支援）	ままごと遊び	分類わけ。 模倣・共有・やり取りを楽しむ。	お皿と食べ物の使い分け、道具の使い方を知る。 つもりになって遊ぶことや、言葉でのやり取りを行う。 友だちとの関わりにつなげる。	③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
	言葉あそび(絵本あそび) ・ペープサート ・ごっこあそび	絵本の言葉と生活の言葉を繋げる。 つもりをひろげる。 共通のイメージをつくる	絵本に出てくるキャラクターやグッツを、イメージしたものを用意し、絵本遊びとして取り入れる。イメージを共有してなりきる事が楽しめるよう、絵本に沿って遊びを提供する。	④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
	ごっこあそび ・クッキングごっこ ・買い物ごっこ ・乗り物ごっこ	見通しをもつ。 イメージを拡げる。 なりきる事を楽しむ。 やり取りのルールを知る。 お金やチケットについて知る。	実際に作る時と同じ工程・場面・やり取りを想定して行い、疑似体験する中で見通しが持てるようにする。 実物とは異なっていても、衛生面などを意識できるように知らせる。 お金・チケットの役割を知らせ、お店の人との関わり方や困った時の対応についても知らせていく。	①健康・生活 ②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
	集団遊び ・あぶくたった ・かくれんぼ ・しっぽ取り ・椅子取りゲーム ・フルーツバスケット ・綱引き ・相撲	共通のルールであそぶ。 遊びの中の役割を知る。 勝ち負けを知る。 憧れの気持ちをもつ。	取り組む前にルールの確認をし、共通のルールで遊ぶ楽しさを知らせていく。 役割を意識して遊び、鬼に捕まるかもしれないというドキドキを感じることや、勝った時の達成感や、優越感を知らせる。 負けた時の気持ちの切り替えや、もう一回やりたいという気持ちを引き出す。	②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
	宝探し	達成感を感じる。 情報の取捨選択。 期待をもつ。 関連付けて考える力を身につける。	指令書・暗号の読みとりで、必要な情報から手がかりを見つける。 見つけた時の達成感を感じる。 見つけたものが、次の活動に繋がり、期待を膨らませる。	③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
	クッキング	食に興味を持つ。 包む・剥く・入れるなどの操作性を高める。	役割を意識しながら取り組めるようにする。衛生面や道具の使い方を知らせる。 実際に触り、味わう中で、感じた事を言葉で表現し、擬音語や形容詞と繋げていく。	①健康・生活 ②運動・感覚 ⑤人間関係・社会性 ④言語・コミュニケーション
	ふりかえり ・写真をみる ・制作物をみる	写真を見て、自分・人・物が分かる。 自分がやった活動を思い出す。	毎回印象に残りやすい場面を撮影し、プリントアウトしたものを見て、場面と言葉を繋げ、振り返る。人・物の名前を繰り返し見るきっかけを作る。ファイリングして持ち帰る。保護者に言葉で伝えるツールとしても活用する。	③認知・行動 ④言語・コミュニケーション

⑧家族支援(児童発達支援：たんぽぽグループ)

懇談：個別支援計画検討月・希望時に随時実施

保護者伝え：療育実施日のねらい・内容・様子・課題・次回見通しなどを、療育の様子写真をモニターに映しながら伝える。
主に子どもだけで参加をしている、幼児教室で実施。

グループ勉強会：療育内容・遊びの意図・感覚統合・生活リズム等療育中に学ぶ時間を設ける。主に親子教室で実施。

保護者学習交流会：毎月第 4 火曜日 13:30～14:30
学習会の内容例(生活・遊び・福祉サービス・就学・思春期対応・きょうだいの関わり・ライフステージ・学習　等)

⑨移行支援(児童発達支援：たんぽぽグループ)

移行に向けての意向調査・情報提供及び情報収集促し、小学校や中学校の見学・教育相談を促す。

サポートファイル及びサポートブックの作成支援

学童グループは 2 時間の療育教室　　午前教室　9:30～11:30　午後教室 13:30～15:30

	あそび・活動	ねらい	内容	発達支援 5 領域
学童グループ（放課後等デイサービス）	・荷物整理 ・排泄 ・更衣	持ち物意識をつける。 教室の流れを知り、見通しを持って過ごす。	荷物を出す場所を視覚的に示す。 個々に合わせたトイレの使用・排泄トレーニングをする。 着脱の目的を意識できるようにする。着替える場所を知らせ、人前の更衣は恥ずかしいなどを知らせる。 体温調節の方法や水分補給のタイミングを知らせる。	①健康・生活 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
	運動遊び (運動サーキット) ・マットよじのぼり ・鉄棒 ・玉入れ ・平均台 ・トンネル ・水遊び ・コマ遊び ・けん玉 ・外遊び ・地域散策(散歩)	身体の使い方を知る。 可動域を拡げる。 ボディイメージをつける。 体力をつける。 受け入れられる感覚の幅を拡げる。 手先 ペース配分を考えて遊ぶ。 怪我をしない、安全な遊び方を知る	成長による身体の変化に合わせてボディイメージを再認識できるように。手で引き寄せる。よじ登る。足で支える。バランスを取る。くぐる。隙間を通り抜ける。持って進む。運ぶ。複数の遊びを組み合わせ、同時に処理しながら動作を行う。 周りを見ながら歩く事や、交通ルールを知る。遊ぶ時に思い切り遊ぶ時と、落ち着いて遊ぶ時との切り替えや、後の事を考えながら遊ぶ。(体力の加減) 怪我にならない身体の使い方、遊具の使い方、周りを見ながら遊ぶ等を一緒に考える。	②運動・感覚 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
	制作 ・折り紙 ・ハサミ ・糊 ・テープ ・絵の具 ・のこぎり	手先の巧緻性を高める。 目的を持って作る 出来上がりを期待する。 完成を喜ぶ。 見せたい気持ちを育む。 工程順序を知り行動する。	活動の絵本に合わせた制作を行う。 見本を見て作り方ややり方を理解できるようにする。個々に合わせて、一度に示す、順を追って示すなど見本のやり方を変える。 自分なりに表現する事を促し、評価を気にせず取り組めるようにする。	②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション

学童グループ（放課後等デイサービス）	・金槌 ・キリ(穴あけ) ・ミシン ・紐通し ・プラバン ・レジン		手に絵の具や糊が付くなど、感覚の苦手さに配慮しながら、手拭きを用意するなどして安心して取り組める方法を一緒に考える。 出来上がりを期待しながら、数回に分けて完成を目指す取り組みを行う。 道具の位置や作業スペースの確保・取り組み方を一緒に考える。	
	体験遊び ・模擬調理 ・買い物トレーニング ・清掃活動 ・洗濯活動 ・実験遊び ・企画パーティー	見通しをもつ。 イメージを拡げる。 なりきる事を楽しむ。 やり取りのルールを知る。 お金やチケットについて知る。	実際の物とは少し違っていても、見立て、つもりで取り組めるようにする。店員役はエプロンをつけるなど、見た目で区別がつくようにする。 共通のイメージで取り組めるように、絵本やイラスト等で事前に導入を行う。 お金・チケットなど商品との関係を理解できるようにする。 達成感が持てるようにし、体験したことを言葉で表現することを促す。	①健康・生活 ②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
	言葉あそび ・絵本遊び ・かるた ・3 ヒントゲーム ・暗号遊び ・なぞなぞ	言葉を聞き分ける 絵を見分ける 知っている事と結び付けて考える	繰り返し取り組む中で、遊びを知らせていく。勝ったことだけに注目せず、頑張った姿を褒めるなどする。勝つためにはどうしたらよいか作戦を考える等を行う。 取り組む前にルールややり方を確認する。 聞く力を高めたい時は、視覚情報をできるだけ少なくする。 内言語の育ち(頭の中で考える力)を促す。言葉・イラスト・現象・感情等を結びつけて捉えることができるようにする。	②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
	クッキング	食に興味を持つ。 包む・剥く・入れるなどの操作性を高める。	役割を意識しながら取り組めるようにする。衛生面や道具の使い方を知らせる。 実際に触り、味わう中で、感じた事を言葉で表現し、擬音語や形容詞と繋げていく。 準備・実施・片付けまでを事前に計画に入れて、自分たちで何が必要か意見を出すことや時間配分なども考えて取り組めるようにする。 食物について興味を持ち、食べる楽しさを感じる	①健康・生活 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
	集団遊び ・かくれんぼ	共通のルールを知る。 皆が遊びやすくなるよう提	納得して遊ぶためのルールを取り組む前に確認し、共通のルールで遊ぶ楽しさを	②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション

	・鬼ごっこ ・だるまさんがころんだ ・ジャンケンあそび ・しっぽ取り ・転がしドッチ ・宝探し ・トランプ	案を行う。 勝ち負けの判断基準の共有。 公平性を知る。 憧れの気持ちをもつ	知らせていく。 負けた時の気持ちの切り替えや、もう一回やりたいという気持ちを引き出す。 年齢に合わせたハンディのつけ方や遊び方を一緒に考える。	⑤人間関係・社会性
	振り返り ・写真 ・制作物 ・地図	写真を見て、自分・人・物が分かる。 自分がやった活動を思い出す。	毎回印象に残りやすい場面を撮影し、プリントアウトしたものを見て、場面と言葉を繋げ、振り返る。人・物の名前を繰り返し見る(思い出す)きっかけを作る。ファイリングして持ち帰る。次の活動日まで気持ちを持続させる。家の人に活動について言葉で伝えるツールとしても活用する。	③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
	自己表現 ・自己紹介 ・自己分析 ・自己決定	自分の事を言葉で表現する。 自分の事を知る。 相手の事をしる。	テーマを決めて、自分の事を相手に知らせる機会をもつ。その中で自分は何が得意で苦手なのかを分析する。 自分で考えて、選ぶ機会をつくる。	④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性

⑪職員の質の向上に資する取組

保護者学習交流会：保護者学習交流会の担当を月ごとに変更し２名ずつで取り組んでいる。保護者に伝えるために、分かりやすい資料の作成や説明方法について、互いに検討しながら取り組む。

外部講師研修会：保護者・職員を対象とし、外部講師を招いて講演会を行っている。

研修会への参加：県や市で開催されている研修会へ、職員がそれぞれ年１回以上は参加するようにしている。